



New Babylon.

Space sharing & Co-designing wooden framework tool



ファーマーズマーケットやコミケ会場などに利用



ショーや演劇の舞台として利用



休憩エリアや展示会場として利用

Color palette: 16 colors (red, orange, yellow, green, cyan, blue, purple, pink, light blue, light green, light yellow, light orange, light red, light purple, light blue, light green).

Structural key:

- Blue line: ×10
- Red 'K': ×2
- Green 'V': ×5

Intoroduction

情報空間のUX - Emergence -
 ソニーパーク内に色とりどりの柱を配置して場所取りができるアプリ「New Babylon」は、物理空間と情報空間をつなぐインターフェイスであり、単にドット絵遊びを楽しむ人から陣地取りを争う人まで幅広く取り込んで、この場所に関わる参加者を増やすプロモートツールでもあります。そして同時に、みんなで空間をハックするこのソーシャルゲームの運用は、世界中の人々が一つの舞台で一つの構築物を創発的に作り上げるプロセスにもなっているのです。



ソーシャルニュースサイト reddit でエイプリル fools に実装され話題となった72時間の社会実験「Place」(2017)。16色から好きな色を選び1pxずつ配置するだけのシンプルなソーシャルゲーム。

物理空間のUX - Abduction -

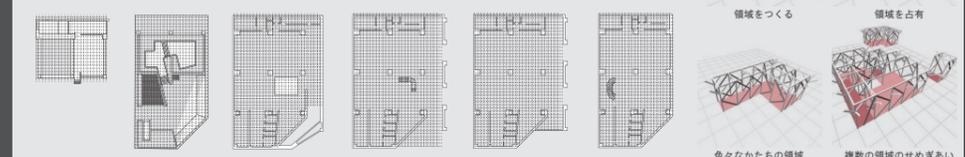
ブラウザ上で実施された構築物が実際の物理空間に出現します。容易に建設・解体可能な小径の木材を用い、職人でなくても施工可能な独自の構成によって、参加者を募り舞台装置としての構築物を再現します。祭りなどで仮設的に作られてきた檜のように、一時期のみ立ち現れます。ドット絵や陣地取りによって結果的につくられた領域を利用して、ショップやバザール、ギャラリー、イマーシブシアターの舞台など多様な使われ方が想定され、ユーザーが発見的に場の意味を読み取るための依代となります。



「山武の資材小屋」移動、交換、解体が容易な木の構造体の小屋が、ユーザー主体によるセルフビルドによっても構築可能な構法により実現された。

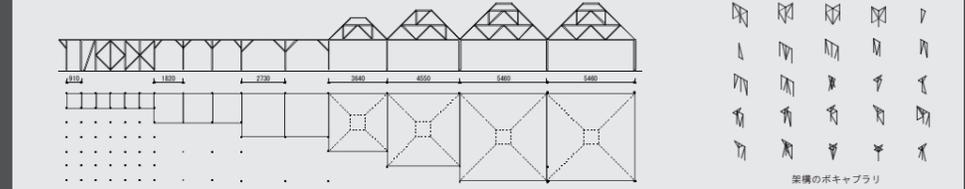
Rule

ソニーパークを 2038 個に分割してシェアできるようにします。ルールは簡単で、グリッドの交点にハシラを立てて領域を定め、**スジカイ**で囲むと1マス単位で場所が取れます。囲んだ領域からハシラを抜きさばった状態にすれば、大きな場所を取ることもできます。



Frame

グリッドは910mmという単位で構成されています。これは日本古来の寸法尺度で、例えば畳のように木造建築では今も標準的に使用されているモジュールです。場所取りの領域を定めるハシラやスジカイは木造架構のメタファになっていて、「柱」を立てると上部を「梁」がつなぎ、「柱」を抜くとその本数によって「梁」を補助する「頬杖」や「重ね梁」「小屋」などが自動的に現れます。



Agents

フィールドには3種類のエージェントが現れて、参加者に動きのきっかけを与えます。緑はハシラとスジカイを落としていき、逆に黒は既に立っているハシラやスジカイを奪うエージェント。白いエージェントは気ままに行動して、スジカイで囲って捕まえたりすることができます。



Material

「柱」の色は木材の産地と紐づいています。参加者は単に好みや隣りの関係などで色を選ぶ事ができますが、結果として各地の木材が混ざり合った状態が生まれます。



Application view

Surrounded Agent

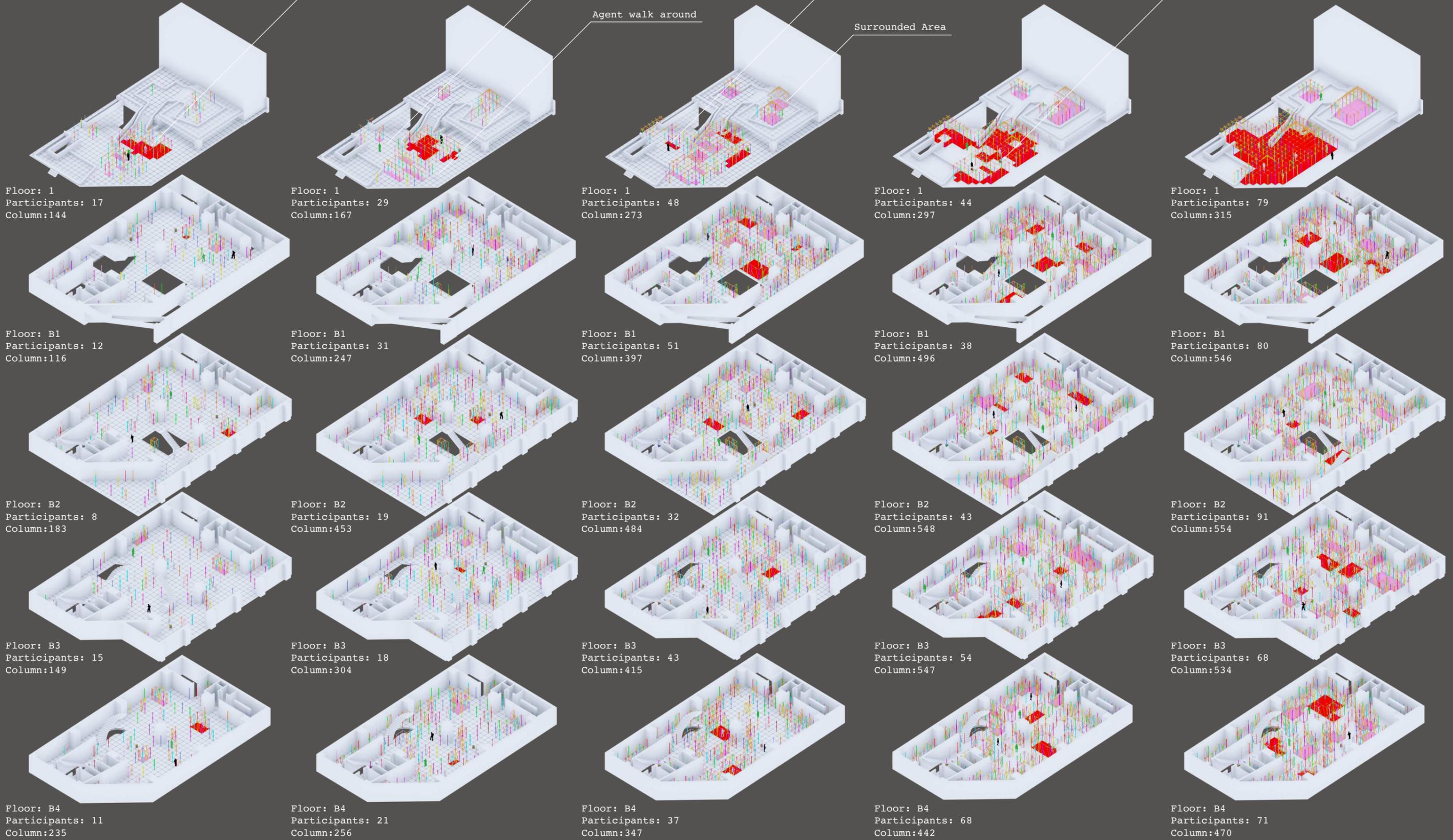
Agent drop items

Agent delete column

Attractor for Agent

Agent walk around

Surrounded Area



April 01, 2020, 4:00

April 01, 2020, 9:00

April 01, 2020, 14:00

April 01, 2020, 19:00

April 01, 2020, 23:59